

日本語学校アンケート

私たちは、日本語学校の学生にアンケートをしたので、その結果(けっか)を発表します。

まず、「オークランドはあぶないと思いますか。」と聞きました。全部で84%の人があぶないかちよつとあぶないと言っていました。

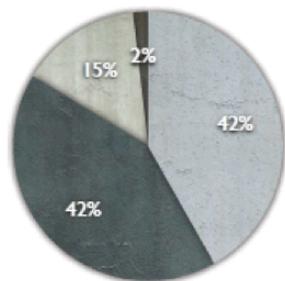
次に、「勉強する時、どこが一番好きですか。」と聞きましたが、65%の学生が部屋で勉強するそうです。

ひまな時、18%の学生は運動して、14%の人は勉強するそうですか。何人かの学生は寝ることが一番好きだと言っていました。中級2の2人の学生は「ひまな時間がないんです。先生のおかげで。」と言っていました。大変ですね。

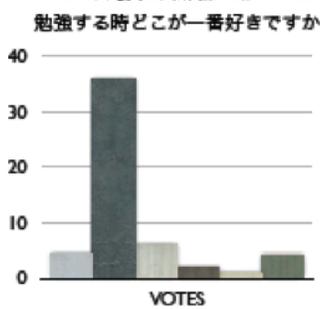
それから、日本語学校の学生は、いろいろな人がセクシー・かつこいと思っ
ています。30%はフランス語学校の学生が一番好きだそうです。2番目はアラ
ビア語学校と食堂の人でした。そして、スペイン語は18%でした。スペイン語
学校の学生の皆さん、がんばりましょう！

最後に、どうして日本語を勉強したいか聞きました。31%の学生は日本
文化のために、日本語を勉強しています。20%は日本に住みたいそうです。で
も12%の人は本人もわからないと言っていました。おもしろいですね。
アンケートに協力(きょうりよく)して下さい。皆さん、ありがとうございます

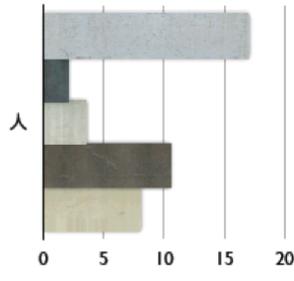
オークランドはあぶないと思いますかか



- はい、あぶない 42%
- ちょっとあぶない 42%
- あまりあぶくない 15%
- いいえ、ぜんぜん、あぶないくない 2%



どうして、日本語を勉強したい



- 日本の文化が好き
- 日本の音楽
- 日本人の彼/彼女がほしい/いる
- 日本に住みたい
- 分からない

(チャン・ジェオン、ワイルズ・ノーラン)

笑う学校には師匠来たる

今週、落語の世界で活躍している柳家さん喬師匠と柳亭左龍師匠、それから紙切りをなさっている林家二葉師匠がミドルベリー大学日本語学校@ミルズにいらつしやつて、皆のために芸を披露してくださいました。この芸は言うまでもなく本当に面白くて、私たちの日本語の勉強に刺激を与えてくださいました。そこで、落語や紙切りの演技を見てからの私自身の感想を書きたいと思ひます。

私は日本に住んでいたことがあるので、落語と紙切りを見る前に、私には何となく想像がついていました。プロの演技を生で見ると、落語や紙切りの本当の姿を目の当たりにでき、今でも心に残る思い出にして下さいました。というのには、落語と紙切りは日本のものでも、言葉の意味を越えて、人間みんなに共通している心まで辿り着くことができるからです。

何より、私は二葉師匠の紙切りが一生忘れられないと思ひます。上級のクラスに来て下さった時、私は「柳の木」をリクエストしました。私は子供の頃から「柳の木」が好きだったので、二葉師匠がどのようにこの木を表現するか気になりました。もちろん、私の期待通りの素晴らしい作品でした(写真)。この作品について少し説明しますが、小野道風という昔の学者が研究のために、落ち込んでいました。それで、ある日散歩をしながら、柳の木にいる虫を取

ろうとしているカエルを目にします。最初、道風はこれを見て、馬鹿なカエルだと思ひましたが、やつとカエルは虫を取ることができました。その瞬間、道風は努力や一生懸命することの重要性に気がきました。間違いなく、この深い意味を持つ作品は私にとつて大切な宝物です。

こんなに美しい芸のことを、現在の日本の若年は存在自体を知っていても、残念ながら、その心を理解していかないかもしれません。もちろん、落語で古い言葉や現代と違う設定が出てきます。ただ、もう一度、道風とカエルの話を思い出していただきたいです。道風のように初めて、ものを見る時、そのものの使い道や面白さがはつきりしていない場合もあります。ただ、それにしても、努力すれば、そのわからないものでも、理解し守るべきものだということに気付かなければなりません。まさに、落語と紙切りはそのものだと思います。

(ローン・ステイブン)

